

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市立しものせき水族館「海響館」
所在地	下関市あるかぼーと6番1号
指定管理者	名 称 公益財団法人下関海洋科学アカデミー
	代表者 理事長 三木 潤一
	住 所 下関市あるかぼーと6番1号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 8 3 8
	E - m a i l : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入館者数

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
目標値	584,000	577,000	—	—	—	1,161,000
実績値	343,868	—	—	—	—	343,868
差	△ 240,132	—	—	—	—	△ 240,132

令和3年度については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等により、年間入館者数は目標値を大きく下回っています。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、感染症対策を継続した上で各種イベントや展示等を行い、より魅力のあるイベントや展示等の開発、業務改善を積極的に実施し、利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市立しものせき水族館「海響館」は、水生生物の保護及び海洋資源の保全並びに海洋環境への意識の啓発を図り、市民が海洋環境を体験・学習できる場を提供することにより市民の余暇の活用に寄与するとともに、本市の観光の振興に資することを目的に設置された施設です。

管理運営業務については、施設の設置目的を果たしながら、SDGsへの取り組みなど指定管理者による様々な取り組みが行われ、子供から大人まで楽しみながら学ぶことができるよう展示を工夫し、各種イベント、調査研究、教育活動等を実施して、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を図ることができています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。経理事務等については、適正に執行されているとは言い難い事案がありましたが、着実に改善を進めています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館や県外自粛等を行いました。感染症対策を行いながら状況に応じたイベントや企画展等を実施しており、様々な努力が確認できました。

今後も、感染症対策を講じた上で、社会的・教育的施設の役割を果たしていくとともに、本市最大の観光レクリエーション施設として、観光振興に寄与するよう期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

市と連携を図ることにより、施設の設置目的に沿った適正な管理運営を行い、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、入館者に対してより一層快適に利用していただける環境づくりを求めます。また、新たな利用者及びリピーターの確保のため、独自のノウハウを活かしながら、企画展等の充実を含めた従業員の意識の向上を図ることを求めるとともに、海洋資源の保全の面では、引き続きイルカ類やペンギン類の人工繁殖技術獲得を推進し、繁殖を期待します。

また、経理事務等については適正であったとは言い難い事案があったため、適正な事務や経理の執行を求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的を達成するための取組みとしては、水生哺乳類を中心とした海洋生物の座礁・混獲等に対する対応（緊急保護等）・調査等に迅速に対応するとともに、飼育している動物の繁殖研究にも取り組みました。

令和３年度の入館者数は、令和２年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や県外自粛、ゴールデンウィーク夜の水族館の中止等により、343,868人と目標値を大きく下回っていますが、状況に応じてイベント等を行うなど、本市の観光振興に寄与することができたと考えます。

また、臨時休館中は、警備員の人数を縮小するなど、指定管理者の経費節減に対する意識により、経費の縮減が図られたと考えます。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

本市の観光の拠点であることを認識し、大きな支障を生じさせることなく、適正な維持管理に努めていました。

令和３年度においては、これまでと同様、世界随一となるフグ目魚類の約１００種類の常設展示やペンギン村の展示充実のほか、いきいきとした飼育展示と教育面に重点をおいたアクティビティー運営の確立に努め、食と資源をテーマに特別企画展「美味sea水族館」を開催するなど、魅力ある展示による集客に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努めました。関係条例・規則等の遵守に関して、指定管理者の規則、規定等の一部に不備がありましたが、改善を進めています。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書等について、管理業務報告書の一部に報告漏れの事項がありましたが、概ね適切に作成しています。施設の管理に要する経理事務等について、適正であったとは言い難い事案がありましたが、着実に改善を進めており、今後も適正な事務や経理の執行を求めます。また、施設の維持管理に関する法令等に定められる保守点検等は適切に実施されています。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

入館者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われており、緊急時（事故等が発生した場合）には、迅速かつ適切な対応がとられています。

また、マスク着用及び消毒の徹底、サーマルカメラや空気清浄機等の設置など、新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施しつつ、状況に応じてイベントや企画展等を実施しています。

社会性(環境等への配慮)

施設が事業用大規模建築物に該当し、特定建築物及びエネルギー指定管理工場に指定されていることを認識し、廃棄物減量等に関する計画書に基づく廃棄物の減量及び適正な処理を図るとともに、エネルギー使用の合理化等に関する法律に基づき、定期的な報告・運用がなされています。

経済性

事業収支について、当初計画の範囲内において適正に執行されました。なお、指定管理者により効率的な管理運営及び経費節減に努めた結果、指定管理料の節減もされています。

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況について特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市立しものせき水族館「海響館」
所在地	下関市あるかぼーと6番1号
指定管理者	名 称 公益財団法人下関海洋科学アカデミー
	代表者 理事長 三木 潤一
	住 所 下関市あるかぼーと6番1号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に応じた項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 8 3 8
	E - m a i l : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入館者数

(単位: 人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	584,000	577,000	570,000	—	—
実績値	343,868	504,214	—	—	—
差	△ 240,132	△ 72,786	—	—	—

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や移動制限が解除となったことにより、年間入館者数は目標値には届かなかったものの、前年実績値は大幅に上回る結果となりました。

今後は、市内外からの観光客増や訪日外国人観光客のインバウンド等が十分見込まれることから、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、季節感や話題性を取り入れつつ、状況に応じた各種イベントや企画展等を行い、より魅力のあるイベントや展示等の開発、業務改善を積極的に実施し、更なる利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市立しものせき水族館「海響館」は、水生生物の保護及び海洋資源の保全並びに海洋環境への意識の啓発を図り、市民が海洋環境を体験・学習できる場を提供することにより市民の余暇の活用に寄与するとともに、本市の観光の振興に資することを目的に設置された施設です。

管理運営業務については、施設の設置目的を果たしながら、SDGsへの取組など、指定管理者による様々な取組が行われ、子供から大人まで楽しみながら学ぶことができるよう展示を工夫し、各種イベント、調査研究、教育活動等を実施して、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を図ることができています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、感染防止対策を継続しながら、楽しく学ぶスタイルを基本にリピーター対策も考慮したイベントや企画展等を実施したり、館内のスロープエスカレーターに不具合が発生し、国際情勢の影響によって部品共有が滞ったことで、長期間の使用中止を余儀なくされた際も、館内順路の変更やスタッフの追加配置といった臨機応変な対応を行うなど、あらゆる場面で様々な工夫や努力が確認できました。

今後も、感染症対策を講じた上で、社会的・教育的施設の役割を果たしていくとともに、本市最大の観光レクリエーション施設として、観光振興に寄与するよう期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

市と連携を図ることにより、施設の設置目的に沿った適正な管理運営を行い、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、入館者に対してより一層快適に利用していただける環境づくりを求めます。また、新たな利用者及びリピーターの確保のため、独自のノウハウを活かしながら、状況に応じた企画展等の充実を含めた従業員の意識向上を図ることを求めるとともに、海洋資源の保全の面では、引き続きイルカ類やペンギン類の人工繁殖技術獲得を推進し、繁殖を期待します。

また、監査での指摘事項に真摯に向き合い、規約や規則等の改正に取り組んだことで、各種事務についても著しい改善がみられました。これまでの業務改善の努力の成果の表れであると大変評価しています。今後も、引き続き適正な事務や経理の執行に取り組むとともに、さらなる業務の改善に取り組んでいただくことを期待します。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的を達成するための取組としては、水生哺乳類を中心とした海洋生物の座礁・混獲等に対する対応(緊急保護等)・調査等に迅速に対応するとともに、飼育している動物の繁殖研究にも取り組みました。

令和4年度の入館者数は、新型コロナウイルス感染症による県外自粛や移動制限が解除となったことから、夜の水族館の通常開催、また、特別企画展の実施や年度途中より館内イベントの一部や体験イベントを再開したこと等により、504,214人と目標値には届きませんでしたが、前年実績は大きく上回り、感染防止対策を講じた上で、状況に応じたイベント等を企画していくことで、本市の観光振興に大きく寄与することができたと考えます。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

本市の観光の拠点であることを認識し、大きな支障を生じさせることなく、適正な維持管理に努めていました。

令和4年度においては、これまでと同様、世界随一となるフグ目魚類の約100種類の常設展示のほか、瀬戸内海水槽におけるイワシ類を約3万匹から5万匹を目標として展示の強化に努めていました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止を余儀なくされていた館内イベントの一部及び体験イベントを年度途中から再開し、恒例の「夜の水族館」や「海響あーとコンテスト」、クリスマスや正月及びバレンタイン等の季節催事を実施したほか、特別企画展「ミラクルうんちワールド! in海響館」を開催するなど、魅力ある展示内容により積極的な集客に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例・規則等を遵守して適切に運営されてきました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書等について、おおむね適切に作成しています。施設の管理に要する経理事務等についても、着実に改善を進めており、今後も適正な事務や経理の執行を求めます。また、施設の維持管理に関する法令等に定められる保守点検等は適切に実施されています。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

入館者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われており、緊急時(事故等が発生した場合)には、迅速かつ適切な対応がとられています。

また、マスク着用及び消毒の徹底、サーマルカメラや空気清浄機等の設置など、新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施しつつ、状況に応じたイベントや企画展等を実施しています。

社会性(環境等への配慮)

施設が事業用大規模建築物に該当し、特定建築物及びエネルギー指定管理工場に指定されていることを認識し、廃棄物減量等に関する計画書に基づく廃棄物の減量及び適正な処理を図るとともに、エネルギー使用の合理化等に関する法律に基づき、定期的な報告・運用がなされています。

事業収支

経済性

事業収支について、当初計画の範囲内において適正に執行されました。なお、指定管理者により効率的な管理運営及び経費節減に努めた結果、安定的かつ継続的に本施設を運営することができています。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況について特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市立しものせき水族館「海響館」
所在地	下関市あるかぼーと6番1号
指定管理者	名 称 公益財団法人下関海洋科学アカデミー
	代表者 理事長 江島 潔
	住 所 下関市あるかぼーと6番1号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に応じた項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化局観光施設課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 8 3 8
	E - m a i l : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入館者数

(単位: 人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	584,000	577,000	570,000	422,000	—
実績値	343,868	504,214	526,404	—	—
差	△ 240,132	△ 72,786	△ 43,596	—	—

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、通常の運営に戻し、入館者の確保に努めたものの、館内スロープエスカレーターの修繕を行うために1か月間休館したこともあり、年間入館者数は目標値には届きませんでした。前年実績値は上回りました。

今後は、リニューアル工事等で令和6年12月から休館となりますが、季節感や話題性を取り入れつつ、より魅力のあるイベントや展示等の開発、業務改善を積極的に実施し、更なる利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市立しものせき水族館「海響館」は、水生生物の保護及び海洋資源の保全並びに海洋環境への意識の啓発を図り、市民が海洋環境を体験・学習できる場を提供することにより市民の余暇の活用に寄与するとともに、本市の観光の振興に資することを目的に設置された施設です。

本施設の管理運営業務については、施設の設置目的を果たしながら、SDGsへの取り組みを含めて指定管理者による様々な取組が行われ、子供から大人まで楽しみながら学ぶことができるよう展示や各種イベントを工夫するとともに、調査研究、教育活動等も実施しており、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を図ることができています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

特に、1か月の休館期間を利用して観覧通路壁面ボード各所を修繕したほか、楽しく学ぶスタイルを基本に、話題性、季節性が高くリピーターにも考慮したイベントや企画展等を実施するなど、あらゆる場面で様々な工夫や努力が確認できました。

今後も、社会教育施設の役割を果たすとともに、本市最大の観光レクリエーション施設として、観光振興に寄与するよう期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和6年12月から令和7年7月中・下旬まで休館し、アシカ展示施設の増築や施設の改修が行われ、展示の魅力度や施設の快適性が向上しますが、こうした施設面での充実だけでなく、これまで培ってきた独自のノウハウを存分に活かした魅力ある展示や各種イベントを行い、新たな利用者やさらなるリピーターの確保に努めていただくとともに、海洋資源保全の面では、引き続き、小型鯨類やペンギン類の人工繁殖技術の獲得を推進し、繁殖につながることを期待します。

今後も市と連携を図り、施設の設置目的に沿った適正な管理運営を行いつつ、利用者がより一層快適に観覧することができる環境づくりを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

水生哺乳類の漂着や座礁、混獲等に対応したほか、目撃情報や解剖記録をデータベースに記録するなど水生生物の保護や海洋資源の保全、海洋環境への意識啓発に向けた水生生物等に関する調査研究に努めました。また、生物を積極的に収集し、展示魚類の繁殖にも努めたほか、夜の水族館や特別企画展、各種イベントを実施して市民等が海洋環境を楽しく体験・学習できる機能を発揮しました。さらに展示内容の工夫や充実を図り、タイムリーな情報発信や広報宣伝活動を実施したほか、周辺の商業施設等と引き続き連携して利用促進を図り、市内最大級の観光レクリエーション施設としての役割を果たし、観光振興に寄与しました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

本市観光の拠点施設であることを認識し、大きな支障を生じさせることなく、適正な維持管理に努めていました。

令和5年度においては、これまでと同様、世界随一となるフグ目魚類の約100種類の常設展示のほか、瀬戸内海水槽のイワシ類を約3万匹から5万匹へ増強し、さらにはクサフグの集団産卵地をテーマとした展示を始めるなど、展示の強化に努めました。また、恒例の「夜の水族館」や「海響あーとコンテスト」、ハロウィンや正月及びバレンタイン等の季節催事を実施したほか、「ズームアップフグの不思議」と題した展示や特別企画展「音を科学する サイエンスOTO」を開催するなど、魅力ある展示内容により積極的な集客に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

人材確保が困難な状況になる中、業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努めており、関係条例・規則等を遵守して、おおむね適切に運営されていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書等については、おおむね適切に作成されています。施設の管理に要する経理事務等については入館料収入の過誤納がありましたが、それ以外に大きな誤りはなく、おおむね適正に行われています。細心の注意を図り、今後も適正な事務や経理の執行を求めます。また、施設の維持管理に関しては、法令等に定められる保守点検等は適切に実施されています。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

入館者の安全を確保するための施設・設備の保守点検や修繕等も適切に実施されており、不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時の各種対応マニュアルを作成して不測の事態に備えるとともに、万一、事故等が発生した場合には迅速かつ適切な対応がとられています。

社会性(環境等への配慮)

施設が事業用大規模建築物に該当し、特定建築物及びエネルギー指定管理工場に指定されていることを認識し、廃棄物減量等に関する計画書に基づく廃棄物の減量及び適正な処理を図るとともに、エネルギー使用の合理化等に関する法律に基づき、定期的な報告・運用がなされています。

事業収支

経済性

事業収支については、エネルギー価格の上昇に伴う光熱水費で追加予算の補正を余儀なくされましたが、結果として、補正額を上回る指定管理料の戻入がありました。これは指定管理者が効率的な管理運営や経費節減に努めた結果の賜物であり、安定的かつ継続的に本施設を運営することができていると判断できます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市立しものせき水族館「海響館」
所在地	下関市あるかぼーと6番1号
指定管理者	名 称 公益財団法人下関海洋科学アカデミー
	代表者 理事長 江島 潔
	住 所 下関市あるかぼーと6番1号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	T E L : 0 8 3 - 2 3 1 - 1 8 3 8
	E - m a i l : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入館者数

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	584,000	577,000	570,000	422,000	436,000
実績値	343,868	504,214	526,404	398,004	—
差	△ 240,132	△ 72,786	△ 43,596	△ 23,996	—

令和6年度は大規模施設改修工事及びアシカ展示施設整備工事のため、営業期間は4月から11月の8ヵ月間でした。年間入館者数は目標値には届きませんでしたが、秋まで続いた猛暑や物価高騰等によるレジャー控えを考えると、遜色のない集客結果と考えられます。

指定管理期間の最終年度にあたる令和7年度は、新たな施設も加わって8月に営業再開となります。利用者の期待感も高まっているものと考えられ、新たな施設だけでなく、既存の展示内容に磨きをかけ、何度となく足を運びたいなる水族館として魅力を存分に利用者へ訴求することを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市立しものせき水族館「海響館」は、水生生物の保護及び海洋資源の保全並びに海洋環境への意識の啓発を図り、市民が海洋環境を体験・学習できる場を提供することにより市民の余暇の活用に寄与するとともに、本市の観光の振興に資することを目的に設置された施設です。

管理運営業務については、施設の設置目的を果たしながら、SDGsへの対応を含めて指定管理者による様々な取組が行われ、子供から大人まで楽しみながら学ぶことができるよう展示や各種イベントを工夫するとともに、調査研究、教育活動等も実施して、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を図ることができています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

特に、4か月の休館期間中を利用して、客用トイレ洗面化粧台前板取替や洗面床シート張替をはじめ、キッズコーナーの造作物撤去、休憩コーナー床シート増し張りなどを利用者目線の改修を行いました。また、休館中もSNSで館内の生き物達の様子や工事の進捗等を情報発信し、開館への期待感を高める工夫もしていました。中でも「休館中のマンボウの様子をお届けします」は寂しがり屋のマンボウを国内外メディアが多数取り上げ、反響を呼びました。

今後も、社会教育施設の役割を果たすとともに、本市最大の観光レクリエーション施設として、観光振興に寄与するよう期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

市と連携を図ることにより、施設の設置目的に沿った適正な管理運営を行い、入館者がより一層快適に利用していただける環境づくりを求めます。また、新たな利用者やリピーターの確保に向け、独自のノウハウを活かした海響館ならではの、魅力ある展示やイベントを行うとともに、海洋資源の保全の面では、引き続き、小型鯨類やペンギン類の人工繁殖技術獲得を推進し、繁殖につながることを期待します。

さらに、各種事務においても、特に支障なく適正な状態を維持しています。今後も、引き続き適正な事務や経理の執行に努めるとともに、さらなる業務の改善に取り組むことを期待します。

合目的性・公平性・効果性

施設の設定目的を達成するための取組としては、水生哺乳類を中心とした海洋生物の座礁・混獲等に対する対応（緊急保護等）・調査等に迅速に対応するとともに、飼育している動物の繁殖研究にも取り組みました。

令和6年度は4月から11月までの8カ月間の営業でしたが、夜の水族館や特別企画展「真・マンボウ展」をはじめ、世界初となるアマミホシゾラフグの稚魚の展示、神出鬼没で短時間しか見ることができない「マミズクラゲ」の展示、季節感を醸成する各種イベントを実施したことなどにより、利用者数は398,004人を確保しました。目標値には届きませんでしたが、長引いた猛暑や物価高騰によるレジャー控えを考慮すると、本市最大の観光レクリエーション施設としての役割を果たし、観光振興に寄与することができたと考えます。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

本市観光の拠点施設であることを認識し、大きな支障を生じさせることなく、適正な維持管理に努めていました。

令和6年度においては、これまでと同様、世界随一となるフグ目魚類の約100種類の常設展示のほか、関門海峡潮流水槽でのサバ類の群泳展示を開始し、さらにはミステリーサークルを造ることで有名なアマミホシゾラフグの孵化・育成に成功して世界初となる稚魚の展示を行うなど、展示の強化に努めました。また、恒例の「夜の水族館」をゴールデンウィークと夏休み期間に行ったほか、季節催事として七夕やハロウィンに関連した水生生物の展示を実施しました。特別企画展「真・マンボウ展」では単なる展示に留まらず、サイエンスカフェと題した対話形式のイベントも開催するなど積極的な集客に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例・規則等を遵守して適切に運営されてきました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書等については、おおむね適切に作成しています。施設の管理に要する経理事務等についても、着実に改善を進めてその定着を図っており、今後も適正な事務や経理の執行を求めます。また、施設の維持管理に関する法令等に定められる保守点検等は適切に実施されています。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

入館者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時（事故等が発生した場合）には迅速かつ適切な対応がとられています。

社会性(環境等への配慮)

施設が事業用大規模建築物に該当し、特定建築物及びエネルギー指定管理工場に指定されていることを認識し、廃棄物減量等に関する計画書に基づく廃棄物の減量及び適正な処理を図るとともに、エネルギー使用の合理化等に関する法律に基づき、定期的な報告・運用が行われています。

経済性

事業収支について、エネルギー価格の上昇に伴う光熱水費増嵩や物価高騰で追加予算を補正しましたが、結果的にその一部が戻入されました。当初計画を踏まえ、指定管理者が効率的な管理運営及び経費節減に努めた賜物であり、安定的かつ継続的に本施設を運営することができていると判断できます。

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況に特に大きな課題や問題はないため経営状態は健全と判断しました。